

第9回 EBMセミナー 第1回 打ち合わせ

2005年2月26日 国立病院機構名古屋医療センターにて開催

出席者：伊藤、網岡、横田、矢野、佐藤、加藤

1. 第9回 EBMセミナー 日程・場所

日時：1月 8～9日 8日 9時～9日 15時まで

場所：金城大学 薬学部

名鉄瀬戸線で20分、「金城大学前」下車すぐ。

2. 施設に関する情報

費用：防災センターの費用で5万円（施設もしてくれる）

利用可能会場：SGD用の部屋 5部屋 大講義室（150人入る）使用予定

備品など：ホワイトボード使用可能

インターネット：LAN環境は各部屋あるが、パソコンは持っていかないと使えない。

今までのセミナーではパソコンはチューターが持参することが多かった。

IPアドレスをもらえるか交渉していく。

パソコン室（60台ある）も使用可能なので検索はパソコン室でしていただくにはどうか。

昼食は学食、懇親会は生協と交渉

3. スタッフ

協力者：ウロコメールを利用して、ウロコメンバーにバックアップをお願いしていく。

次回開催を決めて（四国候補）スタッフとして参加していただく。

塚本先生 広島国際大学 勧誘成功！

役割分担：次回打ち合わせで討必要

4. 会費

今までのセミナーでは8000円でされているため、今回も8000円で予定。

EBM8の繰り越し金は保険用として使用し、できるだけEBM10へお渡しする。

5. セミナーの内容

特別講演：STEP4を充実させていくような内容で、より現場で使いやすくなれば良いのではないか？

患者さんに情報を伝える方法をより良くする。

コミュニケーションスキルを取り入れるのはどうか。

岐阜大学の藤崎和彦先生をお願いしてはどうか。

シナリオ：一つのシナリオで「診断」と「治療」の論文を用意してはどうか。

参加者は「診断」か「治療」のどちらかを選択してもらう。

最後に両方の結果をフィードバックすると、同じシナリオなので参加していないグループの話も興味をもって聞けるのではないだろうか。

シナリオと論文が決まったらウロコメンバーでSGDをやってみる。

論文：英語論文だけにするか和訳を付けるか・・・。

和訳を付けるとしたら、和訳は誰がするのか？

JAMA日本語版を広島では使ったが、日本語にしてあっても量が多いとどのあたりを話しているのか把握しにくかったため、やりにくかった。
英語でも良いので短い論文がよいのではないか。

論文は先渡しが良いのか、当日渡しが良いのか？

先渡し：あらかじめ予習ができるので英語が苦手でも予習してあればセミナーについてしやすい。

シナリオについて事前に各自が調べることができる。

予習してある人としていない人の調整がSGDで大変。

当日渡し：当日渡しすると、スタートは同じ。

英語が苦手な人は内容をその場で理解できない。

当日渡しでチェックシートに従って読むことができれば、「初心者でもチェックシートに従えば、こんなに簡単に読める」という感激を味わってもらえる。

配布資料：EBM8で使用されていたEBM東京の用語集が素晴らしいので、EBM9でも使用許可を得てはどうか。

スタッフも勉強のために改めて用語集を作る？

今での配付資料では、最初に「資料は全て読まなくてもいい」と書かれているため、論文を読んでこない方もいた。今回は、「全部読まなくても良いけれど、セミナーをより学び多くするために論文は一度は読んで来ていただきたい」とお願いしてはどうか。さらに論文のキーワード（たとえばITTとかrandomとか）を意味はわからなくても良いから、予習の際に論文のどこに書いてあるかチェックしてくるようにはどうか？

その他の提案：資料は早めに送った方が良い。

読んだRCTを含むSRをお土産レクチャーで紹介してはどうか。

初日の午前は自由参加の検索実習ではどうか。

計画：次回、年間計画、役割分担を決めなければならない。

広告：いつごろどこに出すのか？

ホームページ：EBM8のホームページの申し込みフォームを借りれると良いが。

伊藤先生がホームページが借りられるか問い合わせ中。

チュータートレーニング：

チュータートレーニングデイのような企画もしたほうが良いのでは。

チュータートレーニングの内容は何がスタンダードなのかわからないので、とりあえずEBM8用のチュータートレーニング講習に出た加藤がその時の資料を次回のミーティングに持ってくる。

セミナーは日月なので、前日の土曜日に開催してはどうか。

南山大学が地元なので、南山大学にファシリテーション研修を頼めれば良いが、会費では講師料捻出は難しいかも。

加藤の先輩でエーザイで研修担当をしている人がいる。ファシリテーション講習も受けると聞いているので、受講後に講演してもらえれば、講師料はなしでも講演可能。

次回 5月 21日(土) 15時 金城大学 薬学部(懇親会あり)

次回までにすること。

伊藤先生：ウロコ ML に事務局 ML を兼ねることをメールを出し、了承を得る。
EBM8 のホームページを使わせてもらえるよう交渉。
シナリオ・論文の例(溶連菌、輸液)を持ってくる。

網岡先生：金城大学に会場を貸してもらえるよう依頼。
学食に休日であるが開けてもらえるか確認。
懇親会が学食で可能か、アルコール可か確認、交渉。

加藤 : 伊藤先生が事務局 ML の許可をとったら議事録をウロコ ML へ流す。
次回、去年のチュータートレーニング日の資料を持参する。

(文責 加藤)